

プログラム名	(仮称)栄一丁目御園座共同ビル計画 工事現場見学会	認定CPD	2単位
開催日	2017年9月11日 14:00~16:00		
開催場所	(仮称)栄一丁目御園座共同ビル計画工事現場 名古屋市中区栄1-602番3他 地内		
講師	鹿島建設(株)中部支店 御園座共同ビル工事事務所長 平野智康氏		
担当理事	企画委員会 理事 成田益美	その他	
参加者	NSK会員およびその所員 計38名 CPD参加28名		
備考			

歴史と文化を継承し、まちのにぎわいを創出、劇場・店舗・分譲マンションの複合開発「(仮称)栄一丁目御園座共同ビル計画」の工事現場を見学した。

この建物は、多数の文化施設が立地する名古屋の演劇芸能・文化の拠点となる伏見地区にある。

「御園座」は1896年(明治29年)の開業以来、「芸どころ名古屋」を象徴する劇場として親しまれてきた。

建築家 隈研吾氏が監修し、名古屋の歴史と文化を継承しながら、新たな機能を備えた「御園座」を、複合開発することで、周辺地域も活性化し、まちの賑わい創出を目指している。

劇場部分の外装は「なまこ壁」のデザインを取り入れ、「御園座」のイメージを踏襲しながら、周辺の景観に配慮した計画としている。建物は地上40階地下1階建、高さ約150mの制振構造とし、2階から4階の「御園座」には、歌舞伎の他、ミュージカル等、幅広い年代を集客し、観劇文化の裾野を広げる。5階~40階のマンション部分は、都心の利便性と超高層の眺望、高断熱仕様や太陽光発電などの省エネ仕様・設備を備えた分譲マンションとなっている。

現場見学に当り、鹿島建設工事事務所長より建設計画・施工概要の説明を受けた。この現場はICTツールとBIMの連携で生産性の向上を目指しており、タブレット、クラウド、BIMなどの利用により、現場の施工状況を柱、梁などの色分けや、躯体の製作状況と施工状況や内外装の施工状況など煩雑な作業を“見える化”し、リアルタイムでBIMで確認できる。“検タス”ツールや、現場、協力会社が行う工場での配筋検査、製品検査にも活用し、クラウド上のデータをBIMに反映。BIMモデルを見るだけで一瞬に皆が同じ情報を共有でき、現場運営する上で大きなメリットを出している。

このように、現場管理、検査業務工程と文書管理システムとの連携や協力会社との建物管理などから、労務安全管理に関する責任意識の高揚や、施工体系など作業員情報の明確化にも繋げている。

ICTを駆使することで、検査業務の軽減、写真、検査帳票の作成業務の削減など労務の削減にも大きな効果をもたらし、労務情報管理にも連携され「働き方改革」にも繋げている。

現場見学は、屋上、住居エリア、御園座ホール、朱色を基調としたエントランス、外観は伝統的ななまこ壁など見学した。ICTツールが連携し、現場で生きた形で活用されている、近未来型の建築現場を見ることが出来た。





「御園座」外観／伝統的な「なまこ壁」の意匠を継承



マンションエントランス／劇場とは異なる意匠の独立したファサード



出典：©日本の超高層ビル



ホール／「御園座」の伝統と格式を受け継ぐ

出典：積水ハウス株式会社 News Release
2015年3月27日

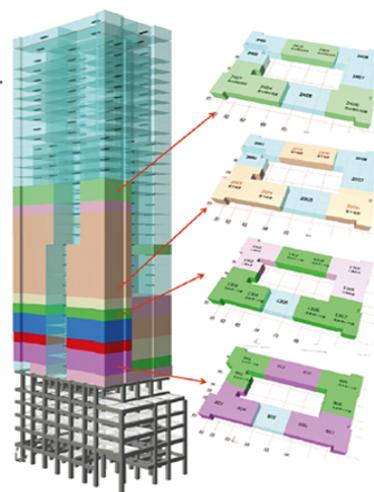
内装工事におけるBIMとの連携

“e-現場調整Pro”に入力したデータをBIMと連携することにより、各階の部屋毎に内装工事の進捗状況を“見える化”した

e-現場調整Pro



職長が“e-現場調整Pro”に作業が完了した部屋番号を入力



BIMモデルを利用した可視化

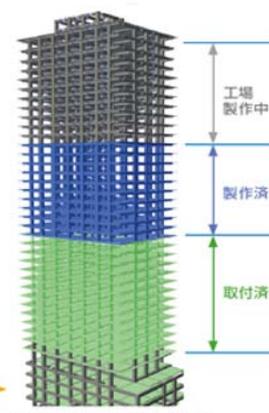
躯体工事におけるBIMとの連携

工場検査に“検タス”を利用



“検タス”とBIMを連携することにより、柱や梁、床などの躯体が、工場製作中、製作済、取付済なのかを“見える化”した

現場での施工管理に“検タス”を利用



BIMモデルを利用した可視化

出典：鹿島建設株式会社